

10. 廃棄物処理施設の概要

(1) 清掃事務所

① 第一工場の設備内容・事業費等

所在地	舞鶴市字森1515番地	電話番号	63-1614		
敷地面積	4,700㎡				
着工	平成2年12月	竣工	平成5年3月		
焼却能力	80t/16h(40t/16h×2炉)				
炉型式	准連続燃焼式焼却炉(ストーカ炉)				
建屋概要	1. 工場棟	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 建築面積:1,407.94㎡ 延床面積:2,475.93㎡			
	2. 煙突	鉄筋コンクリート造丸形(レンガ内張) 高さ59m			
総事業費	事業費	国庫補助金	地方債	一般財源	
	2,430,318,610円	594,259,000円	1,349,400,000円	486,659,610円	
	建設工事費、工事雑費、事務費等含む				
ダイオキシン対策改修工事	工事期間:平成13年6月～平成14年11月 工事費:1,771,205,100円				
主 な 設 備 概 要					
①受入供給設備		⑥通風設備			
ごみ計量機	1 基	押込送風機		2 台	
ごみ投入扉	3 基	誘引送風機		2 台	
ごみピット(900㎡)	1 基	二次空気押込送風機		2 台	
ごみクレーン	1 基	空気予熱器		2 基	
②燃焼設備		ガス減温器		2 基	
乾燥・燃焼装置	2 基	煙突		1 基	
後燃焼装置	2 基	⑦灰出し設備			
焼却炉本体	2 炉	灰出しコンベヤ		1 式	
助燃装置	2 基	ダスト搬出装置		1 式	
再燃焼装置	2 基	灰ピット(25㎡)		1 基	
③ガス冷却設備		処理飛灰バンカ		1 基	
ガス冷却室	2 基	灰クレーン		1 基	
減温塔	2 基	熱分解装置		1 基	
④排ガス処理設備		重金属安定化装置		1 式	
ろ過式集じん器	2 基	⑧電気設備		1 式	
消石灰吹込装置	1 基	⑨計装設備		1 式	
活性炭吹込装置	1 基				
⑤排水処理設備					
排水処理装置	1 式				
ピット汚水処理装置	1 式				

②第二工場の設備内容・事業費等

所在地	舞鶴市字森1515番地	電話番号	63-1614	
敷地面積	4,700㎡(第一工場と同一敷地)			
着工	昭和56年10月	竣工	昭和58年3月	
焼却能力	30t/8h(15t/8h×2炉)			
炉型式	機械化バッチ燃焼式焼却炉(ストーカ炉)			
建屋概要	1. 工場棟	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 建築面積:886.49㎡ 延床面積:1,168.97㎡		
	2. 煙突	鉄筋コンクリート製外筒支持型鋼製内筒 高さ45m		
総事業費	事業費	国庫補助金	地方債	一般財源
	468,810,449円	143,681,000円	203,000,000円	122,129,449円
建設工事費、工事雑費、事務費等含む				
ダイオキシン対策改修工事	工事期間:平成12年6月～平成13年8月 工事費:1,002,015,000円			
主 な 設 備 概 要				
①受入供給設備		⑥通風設備		
ごみ投入扉	3 基	押込送風機		2 台
ごみピット(316㎡)	1 基	誘引排風機		1 台
ごみクレーン	1 基	二次空気押込送風機		2 台
		空気予熱器		2 基
②燃焼設備		ガス減温器		2 基
給じん装置	2 基	煙突		1 基
乾燥・燃焼装置	2 基			
後燃焼装置	2 基	⑦灰出し設備		
焼却炉本体	2 炉	灰出しコンベヤ		1 式
助燃装置	2 基	ダスト搬出装置		1 式
再燃焼装置	2 基	灰バンカ		1 基
		ダストバンカ		1 基
③ガス冷却設備		重金属安定化装置		1 式
ガス冷却室	2 基			
減温塔	2 基	⑧電気設備		1 式
④排ガス処理設備		⑨計装設備		1 式
ろ過式集じん器	1 基			
消石灰吹込装置	1 基			
活性炭吹込装置	1 基			
⑤排水処理設備				
排水処理装置	1 式			
ピット汚水処理装置	1 式			

③焼却されるごみの組成分析（湿ベース）

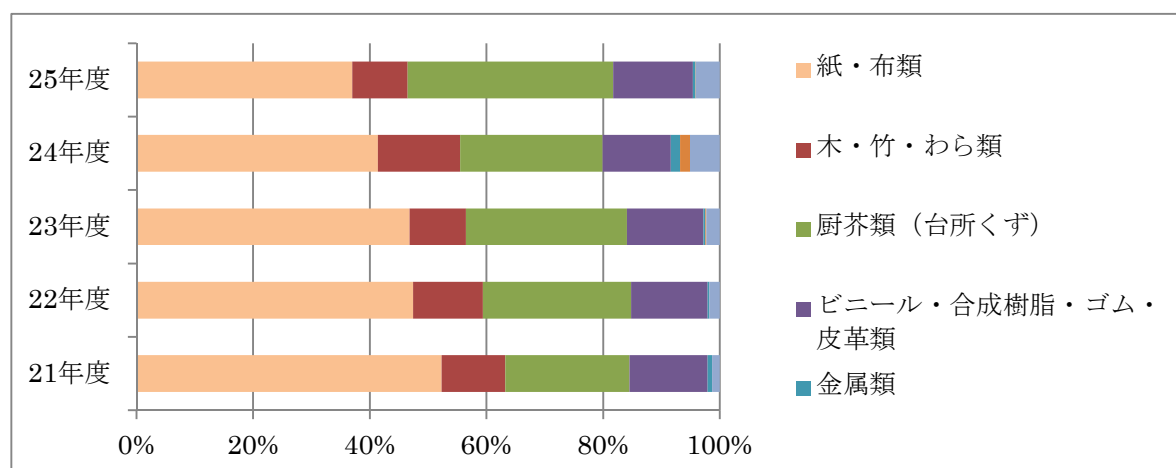
ごみの効率的処理、経済的処理、公害防止、安全な運転管理を行うために、搬入されるごみの組成分析を毎年実施しています。

25年度の状況をみると、紙・布類が37.0%、厨芥類が35.2%と全体の約7割を占めています。これらは、資源としてまだまだ有効利用ができるものであり、今後、資源化に努めていく必要があります。

なお、ごみの組成分析とは、ごみピットに搬入されたごみを十分攪拌した後その一部を採取し、分類・重量を測定し、組成比を算出したものです。

項 目		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
単位容積重量	(kg/m ³)	172	163	135	145	153	
三 成 分	水分	49.4	48.7	46.0	50.0	45.9	53.0
	灰分	4.9	4.7	4.8	6.4	8.0	5.1
	可燃分	45.7	46.7	49.2	43.6	46.1	41.9
低位発熱量(実測値)	(kcal/kg)	2,195	2,028	1,567	2,082	1,912	
ご み の 物 理 組 成	紙・布類	50.5	47.4	52.3	46.8	41.4	37.0
	木・竹・わら類	8.3	12.0	10.9	9.7	14.1	9.5
	厨芥類(台所くず)	25.2	25.4	21.3	27.6	24.4	35.2
	ビニール・合成樹脂 ゴム・皮革類	14.1	13.1	13.4	13.1	11.7	13.7
	金属類	0.4	0.3	0.8	0.3	1.6	0.4
	その他不燃物類	0.4	0.0	0.0	0.2	1.7	0.1
	その他(細塵)	1.1	1.8	1.3	2.3	5.1	4.1
	合計	100	100	100	100	100	100
備 考		年6回測定 の平均値	年6回測定 の平均値	年6回測定 の平均値	年6回測定 の平均値	年6回測定 の平均値	

焼却されるごみの組成分析



④清掃事務所における排ガスダイオキシン類測定値

単位：ng-TEQ/m³N

年 度	測 定 値		測 定 日
	第一工場	第二工場	
16年度	0.089	0.051	平成16年6月15日、6月16日
17年度	0.034	0.024	平成17年6月21日、6月22日
18年度	0.02	0.025	平成18年6月29日
19年度	0.16	0.014	平成19年7月10日
20年度	0.28	0.12	平成20年6月2日、7月1日
21年度	0.062	0.014	平成21年6月11日
22年度	0.028	0.03	平成22年6月24日
23年度	0.039	0.027	平成23年6月24日
24年度	0.061	0.035	平成24年6月26日
25年度	0.048	0.0021	平成25年6月18日

【国の基準値】

○平成14年12月1日以降・第一工場は5ng-TEQ /m³N以下、第二工場は10ng-TEQ /m³N以下

※ ng：ナノグラム（10億分の1グラム）

※ TEQ：ダイオキシン類の毒性を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン（TCDD）の毒性に換算した値（毒性等量）です。

※ m³N：摂氏0度1気圧という条件の下での1m³のことです。

⑤清掃事務所におけるばいじん等のダイオキシン類測定値

単位：ng-TEQ/g

年 度	種 別	測 定 値		測 定 日
		第一工場	第二工場	
16年度	焼却灰	0.0039	0.0017	平成16年6月16日
	ばいじん	0.054 第1工場と混合処理		
17年度	焼却灰	0.00017	0.0076	平成17年6月21日、6月22日
	ばいじん	0.013 第1工場と混合処理		
18年度	焼却灰	0.01	0.0000033	平成18年6月29日
	ばいじん	0.013 第1工場と混合処理		
19年度	焼却灰	0.000023	0.00062	平成19年7月10日
	ばいじん	0.11 第1工場と混合処理		
20年度	焼却灰	0.00000056	0.00092	平成20年6月2日、7月1日
	ばいじん	0.041 第1工場と混合処理		
21年度	焼却灰	0.00062	0.0021	平成21年6月11日
	ばいじん	0.032 第1工場と混合処理		
22年度	焼却灰	0.00053	0.00089	平成22年6月24日
	ばいじん	0.038 第1工場と混合処理		
23年度	焼却灰	0.00091	0.0013	平成23年6月24日
	ばいじん	0.026 第1工場と混合処理		
24年度	焼却灰	0.00046	0.0024	平成24年6月27日
	ばいじん	0.036 第1工場と混合処理		
25年度	焼却灰	0.00015	0.0011	平成25年6月19日
	ばいじん	0.046 第1工場と混合処理		

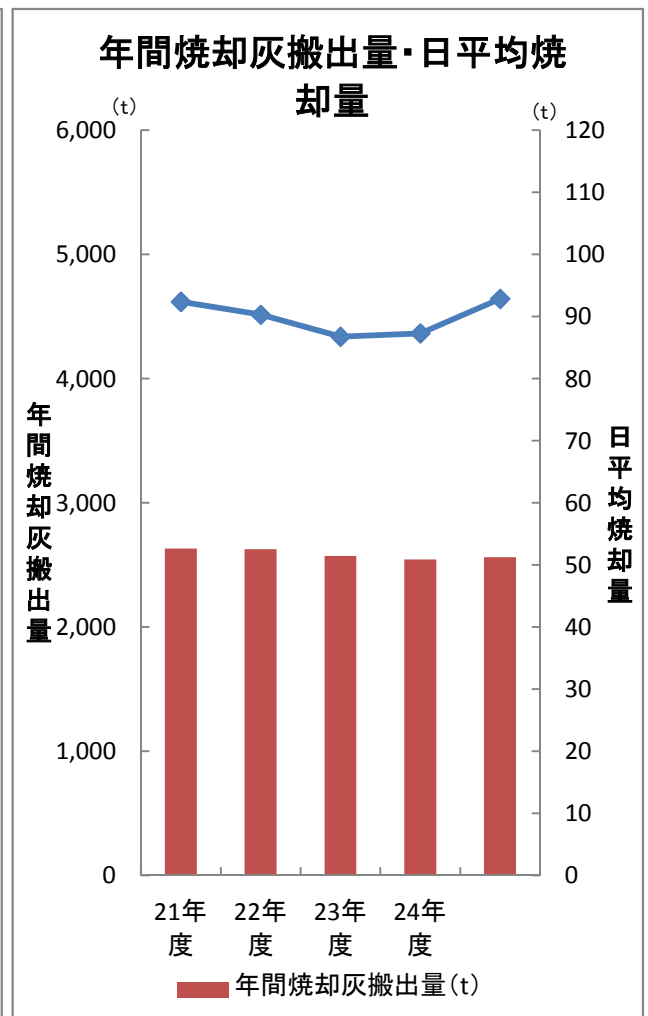
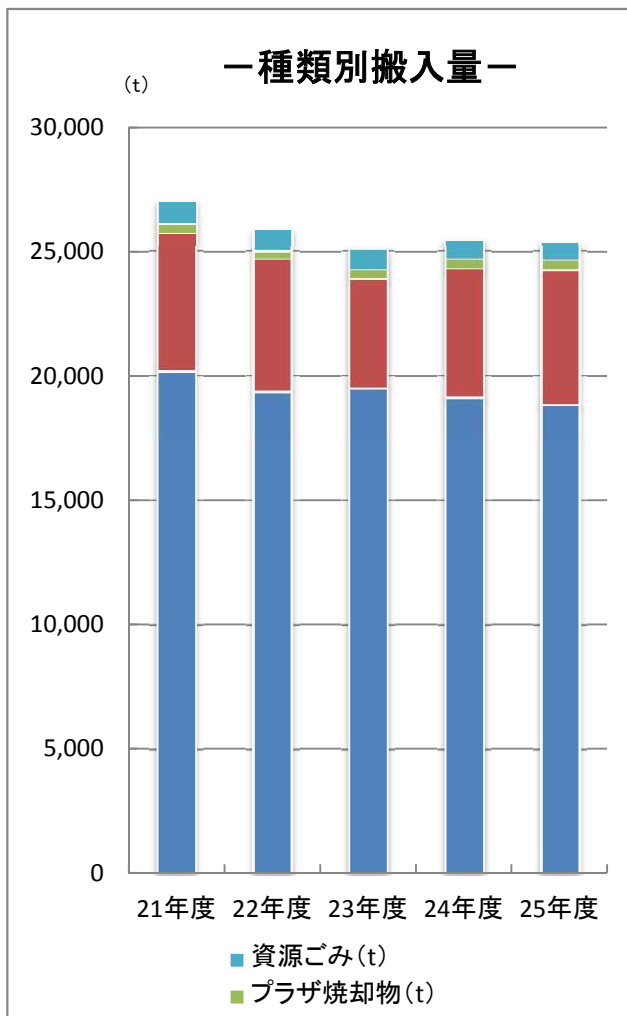
※混合灰とは焼却灰（燃え殻）とばいじん（集じん機で集めた灰）を合せたものです。

【ばいじん等の処分を行う場合の基準】清掃事務所は、薬剤処理を行っており基準は適用されません。

なお、国の基準値は、平成14年12月1日以降、3ng-TEQ/g以下です。

⑥搬入実績等

区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
ごみ搬入量	収集ごみ (t)	20,223.8	19,382.8	19,509.2	19,137.8	18,850.6
	直接搬入ごみ (t)	5,495.8	5,324.1	4,402.2	5,172.3	5,399.2
	プラザ焼却物 (t)	418.6	306.5	362.4	410.3	428.1
	合計 (t)	26,138.2	25,013.4	24,273.8	24,720.4	24,677.9
	うち資源ごみ (t)	917.6	896.3	852.3	776.7	736.4
	焼却ごみ合計 (t)	25,220.6	24,117.1	23,421.5	23,943.7	23,941.5
焼 却 量 (t)		25,218.6	24,192.1	24,202.8	23,920.0	23,864.9
焼却灰搬出量 (t)		2,631.9	2,627.0	2,572.8	2,545.4	2,562.0
焼 却 日 数 (日)		273	268	279	274	257
日平均焼却量 (t)		92.4	90.3	86.7	87.3	92.9



(2) リサイクルプラザ

①設備内容・事業費等

所在地	舞鶴市字森小字大谷65番地の2	電話番号	64-7222(粗大ごみ収集64-5953)		
敷地面積	約12,000㎡				
着工	平成8年6月	竣工	平成10年3月		
処理能力	40t/5h	破 碎 系	24.4t/5h		
		空 缶 系	2.9t/5h		
		プラスチック容器類系	12.7t/5h		
建屋概要	1. 工場棟	鉄骨造(一部鉄筋コンクリート)4階建 建築面積:2,283㎡ 延床面積:4,989㎡			
	2. プラザ棟	鉄筋コンクリート造2階建 建築面積:952㎡ 延床面積:1,358㎡			
	3. スtockヤード棟	鉄筋コンクリート造 平屋建:2棟 建築面積:288㎡ 延床面積:288㎡			
総事業費	事業費	国庫補助金	地方債	一般財源	
	3,073,707,000円	764,171,000円	2,193,800,000円	115,736,000円	
	建設工事費、工事雑費、事務費等含む				
主 な 設 備 概 要					
①受入供給設備			二次磁選機(不燃・粗大・金属類処理系)	1 基	
計量機	1 基		磁選機(空缶類処理系)	1 基	
金属類ダンピングボックス	1 基		アルミ選別機(不燃・粗大・金属類処理系)	1 基	
プラスチック容器類破袋機用供給コンベヤ	1 基		アルミ選別機(空缶類処理系)	1 基	
不燃ごみ破袋機用供給コンベヤ	1 基		粒度選別機	1 基	
粗大ごみ・金属類受入コンベヤ	1 基		No.1・2鉄類風力選別機	各1基	
空缶類受入コンベヤ	1 基		No.1・2プラスチック選別機	各1基	
粗破砕機用供給コンベヤ	1 基		プラスチック容器類手選別コンベヤ	1 基	
供給フィーダ	1 基		選別用送風機	1 基	
②破砕・圧縮設備			破袋機用袋捕集装置	1 基	
粗破砕機	1 基		ロールフィルタ	1 基	
細破砕機	1 基		⑤再生設備		
強制換気送風機	1 基		ペットボトル減容機	1 基	
③搬送設備			No.1・2発泡スチロール減容機	各1基	
振動コンベヤ	1 基		プラスチック容器類減容機	1 基	
No.1~4粗破砕物搬送コンベヤ	各1基		回収袋・その他プラスチック減容機	1 基	
No.1~4破砕物搬送コンベヤ	各1基		金属圧縮機(不燃・粗大・金属処理系)	1 基	
プラスチック選別機投入コンベヤ	1 基		金属圧縮機(空缶類処理系)	1 基	
鉄類搬送コンベヤ	1 基		有害ごみ処理機	1 基	
アルミ選別機投入コンベヤ	1 基		フロン回収装置	1 基	
No.1~3可燃物搬送コンベヤ	各1基		⑥貯留・搬出設備		
プラスチックコンベヤ	1 基		可燃物貯留ホッパ	1 基	
不燃物搬送コンベヤ	1 基		不燃物貯留ホッパ	1 基	
No.1・2残渣コンベヤ	各1基		減容後プラスチック貯留ホッパ	1 基	
スチール缶搬送コンベヤ	1 基		鉄類貯留ホッパ	1 基	
アルミ缶搬送コンベヤ	1 基		アルミ類貯留ホッパ	1 基	
減容後プラスチック搬送コンベヤ	1 基		スチール缶貯留ホッパ	1 基	
袋搬送用排風機	1 基		アルミ缶貯留ホッパ	1 基	
④選別設備			ホッパ開閉用油圧ユニット	1 基	
プラスチック容器類破袋機	1 基		⑦集塵設備		
不燃ごみ破袋機	1 基		サイクロン	1 基	
一次磁選機(不燃・粗大・金属類処理系)	1 基		バグフィルタ	1 基	
			排風機	1 基	

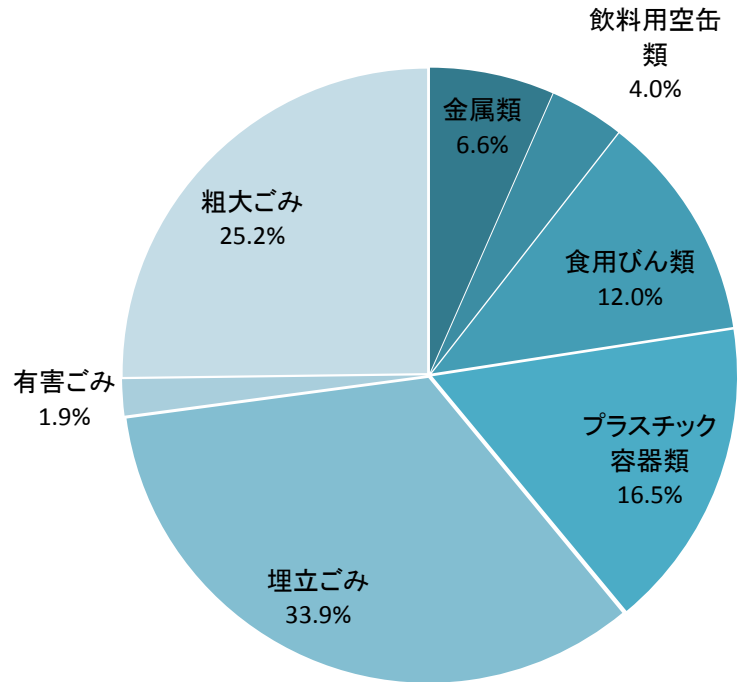
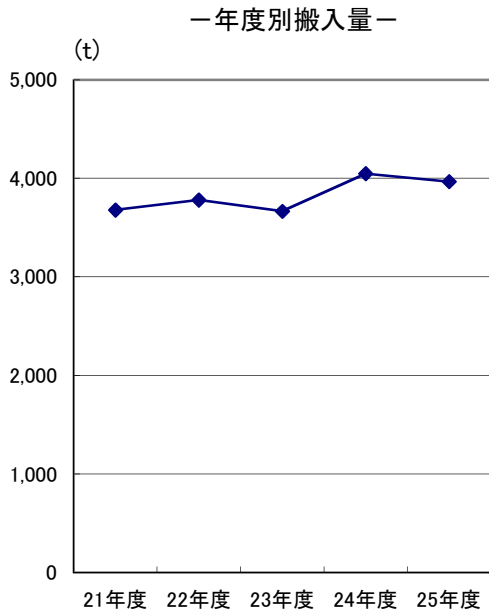
②搬入・搬出実績等

(単位:t)

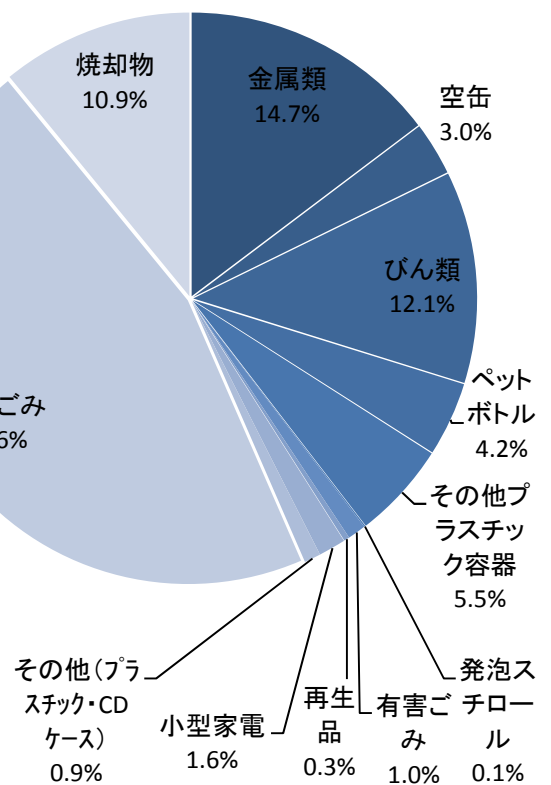
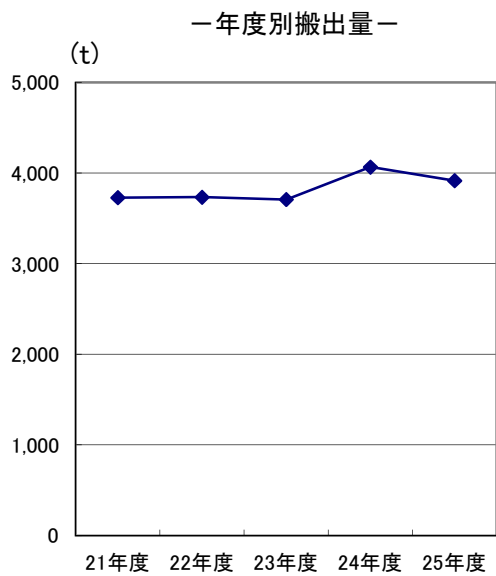
区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
搬 入 量	金 属 類	271.1	271.5	253.5	268.9	261.1	
	飲 料 用 空 缶 類	189.8	190.6	168.6	164.1	156.8	
	食 用 び ん 類	554.5	556.9	517.7	498.2	476.8	
	プ ラ ス チ ッ ク 容 器 類	660.5	688.2	630.9	643.8	652.7	
	埋 立 ご み	1,294.5	1,308.7	1,236.7	1,387.3	1,343.9	
	有 害 ご み	44.3	43.5	73.6	76.0	76.2	
	粗 大 ご み	665.0	721.2	785.4	1,009.9	999.9	
	合 計	3,679.7	3,780.6	3,666.4	4,048.2	3,967.4	
搬 出 量	資 源 化 物	金 属 類	638.6	597.6	534.2	664.9	575.5
		空 缶	174.3	160.8	133.5	161.7	118.7
		び ん 類	548.0	561.8	481.3	513.4	472.4
		ペ ッ ト ボ ト ル	158.5	152.1	156.5	155.6	165.7
		そ の 他 プ ラ ス チ ッ ク 容 器	213.8	221.9	221.1	186.0	216.2
		発 泡 ス チ ロ ー ル	3.4	1.6	4.0	4.7	3.0
		有 害 ご み	38.9	41.8	41.4	36.0	40.9
		家 電 4 品 目	0.8	—	—	—	—
	再 生 品	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	
	RDF 原 料 (可 燃 不 適 物)	5.7	—	—	—	—	
	小 型 家 電	—	—	—	—	61.2	
	そ の 他 (プ ラ ス チ ッ ク ・ CD ケ ー ス)	—	—	—	—	36.6	
	埋 立 ご み	1,515.7	1,677.1	1,761.0	1,921.7	1,784.8	
	焼 却 物	418.6	306.5	362.4	410.3	428.1	
	合 計	3,728.3	3,733.2	3,707.4	4,066.3	3,915.1	

※ 搬入量合計と搬出量合計との数量差は、資源化物を施設内でストックしていることによるものです。

—平成25年度種類別搬入量—



—平成24年度種類別搬出量—



(3) 東浄化センターし尿処理施設

①設備内容・事業費等

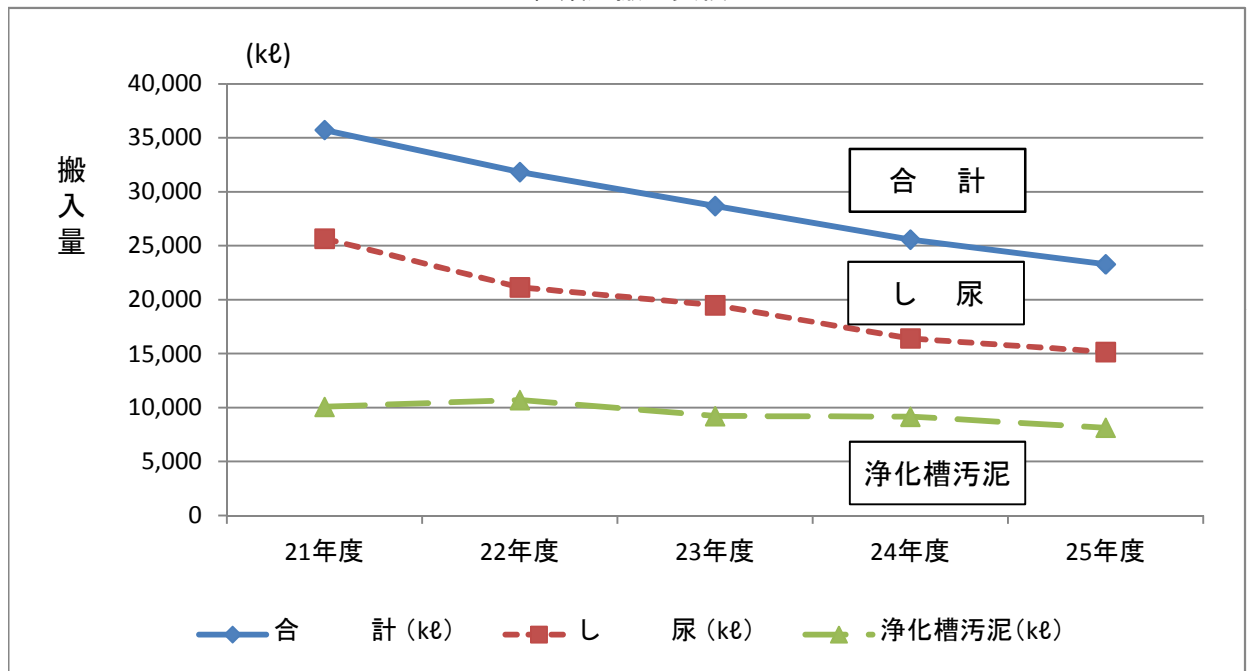
所在地	舞鶴市字市場732番地		電話番号	62-1999	
着工	昭和39年度		竣工	昭和40年度	
	昭和53年1月			昭和54年3月	
処理能力	108kℓ/日(当初60kℓ/日)				
処理方式	水処理	嫌気性消化処理→凝集沈殿処理→下水終末処理場			
	汚泥処理	下水終末処理場汚泥処理設備へ移送し処理			
	臭気処理	受入貯留設備高濃度臭気:し渣焼却炉で燃焼脱臭			
		受入貯留設備低濃度臭気:水洗浄+アルカリ洗浄			
		消化槽関連臭気:下水終末処理場曝気槽に吹込			
総事業費 (昭和52・53年度)	事業費	国庫補助金	地方債	一般財源	
	195,000,000円	30,920,000円	155,700,000円	8,380,000円	
	建設工事費、工事雑費、事務費等含む				
主 な 設 備 概 要					
①受入供給設備			消化汚泥引抜ポンプ	1 基	
受入口	2 基		消化槽加温設備	1 式	
沈砂槽	1 槽		乾式脱硫塔	2 基	
受入槽(26.46m ³)	1 槽		湿式脱硫塔	1 基	
破碎機	2 基		余剰ガス燃焼装置	1 式	
分配槽	1 槽		No.1脱離液調整槽(120m ³)	1 槽	
ドラムスクリーン	1 基		No.2脱離液調整槽(100m ³)	1 槽	
スクリーンプレス	1 基		脱離液移送ポンプ	2 基	
し渣コンベヤ	1 基				
し渣焼却炉	1 基		③凝集分離設備	1 式	
し尿貯留槽(25.08m ³)	1 槽				
し尿投入ポンプ	2 基		④脱臭設備		
			水洗浄脱臭塔	1 基	
			アルカリ洗浄脱臭塔	1 基	
			脱臭ファン設備	1 式	
②嫌気性消化処理設備			⑤給排水設備	1 式	
No.1-1消化槽(900m ³)	1 基				
No.1-2消化槽(900m ³)	1 基		⑥配管設備	1 式	
No.2消化槽(1,280m ³)	1 基				
No.3消化槽(1,280m ³)	1 基				
No.1-1消化槽ガス攪拌ブロワ	2 基				
No.1-2消化槽ガス攪拌ブロワ	2 基				
No.2・3消化槽ガス攪拌ブロワ	2 基				

②搬入実績

－搬入量・搬入日数等実績(過去5年間)－

区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
搬入量	合 計 (kℓ)	35,736.0	31,843.3	28,693.1	25,579.5	23,289.9	
	し 尿 (kℓ)	25,667.2	21,144.9	19,486.6	16,416.4	15,153.4	
	浄化槽汚泥	搬入量 (kℓ)	10,068.8	10,698.4	9,206.5	9,163.1	8,136.5
		混入率 (%)	28.2	33.6	32.1	35.8	34.9
搬 入 日 数 (日)		292	292	294	289	293	
搬入日平均搬入量 (kℓ)		122.4	109.1	97.6	88.5	79.5	
日平均搬入量 (kℓ)		97.9	87.2	78.4	70.1	63.8	

－種別別搬入実績－



(4) 滝ヶ下埋立処理場（一般廃棄物）

①設備内容・事業費等

所在地	舞鶴市字喜多小字滝ヶ下1000番地		電話番号	76-4947
規模	総面積	48,000m ²		
	埋立面積	34,000m ²		
	埋立容量	329,921m ³ （当初300,000m ³ ）		
	埋立期間	25年（予定）		
	埋立工法	サンドイッチ方式		
	埋立開始	昭和55年5月		
着工	昭和54年6月	竣工	昭和55年3月	
浸出水処理施設の規模	敷地面積	1,600m ² （総面積の内数）		
	処理能力	240m ³ /日		
	最大貯留量	480m ³		
	処理方式	散水ろ床法+高速凝集沈殿法+砂ろ過法		
総事業費	最終処分地工事費	117,000千円		
	浸出水処理施設工事費	116,500千円		
	用地費	91,441千円		
	調査・事務費	33,559千円		
	合計	358,500千円		
財源内訳	国庫補助金	55,600千円		
	地方債	174,100千円		
	一般財源	128,800千円		

②ダイオキシン類測定値

滝ヶ下埋立処理場では、廃棄物処理法及びダイオキシン類対策特別措置法に基づき、平成12年度から放流水や地下水のダイオキシン類の測定を実施しています。

単位：pg-TEQ/ℓ

測定日	放流水	地下水	
		上流	下流
平成16年 7月22日	0.0015	0.0078	0.0015
平成17年 8月 3日	0.00085	0.0079	0.00014
平成18年 7月28日	0.0059	0.0035	0.00035
平成19年 8月 3日	0.0058	0.067	0.065
平成20年 7月31日	0.00075	0.130	0.065
平成21年 7月28日	0.0037	0.067	0.062
平成22年 8月 4日	0.0023	0.340	0.081
平成23年 8月 8日	0.00059	0.077	0.062
平成24年 8月 6日	0.00055	0.590	0.068
平成25年 8月 7日	0.0012	0.072	0.073

【国の基準値】

放流水…10pg-TEQ/ℓ 地下水…1pg-TEQ/ℓ

※ pg（ピコグラム）：1兆分の1グラム

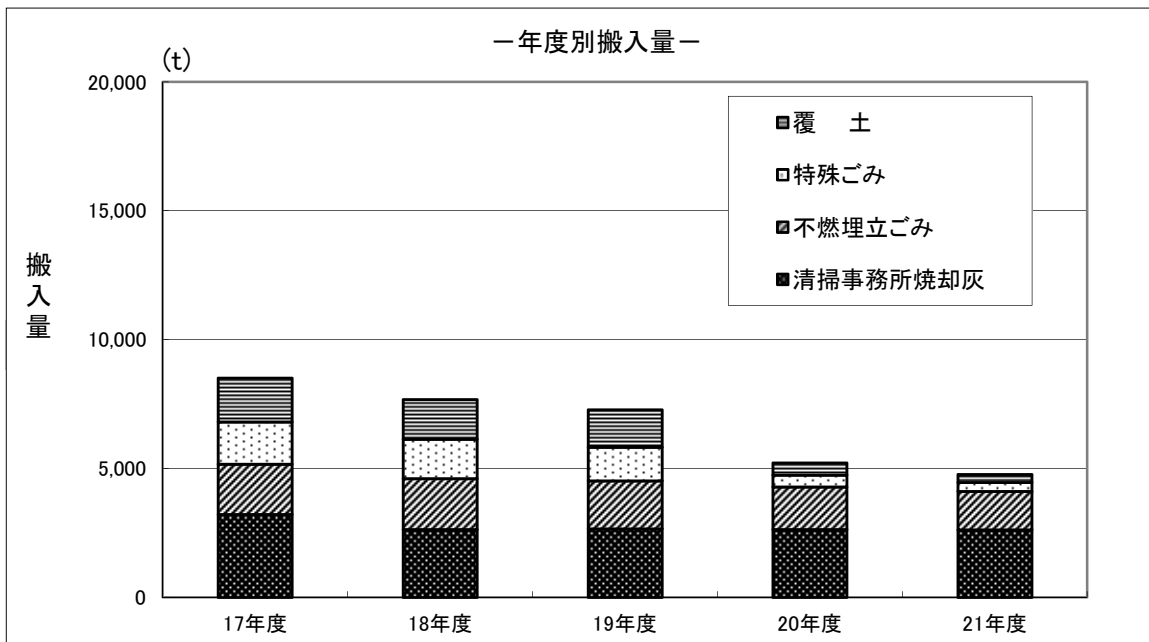
※ TEQ：ダイオキシン類の毒性を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン（TCDD）の毒性に換算した値（毒性等量）です。

③搬入実績

—種類別搬入量—

(単位：t)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
清掃事務所焼却灰	3226.51	2,632.18	2,666.50	2,634.29	2,621.87
不燃埋立ごみ	1941.45	1,980.86	1,863.12	1,648.99	1,495.56
特殊ごみ	1644.9	1,531.40	1,298.36	465.62	346.74
小 計	6,812.86	6,144.44	5,827.98	4,748.90	4,464.17
覆 土	1703.24	1,536.13	1,457.01	474.89	313.45
合 計	8,516.10	7,680.57	7,284.99	5,223.79	4,777.62



(5) 舞鶴市一般廃棄物最終処分場

①設備内容・事業費等

所在地	舞鶴市字大波上小字田黒1367-2番地		電話番号	63-1101
規模	総面積	約34,000㎡		
	埋立面積	18,000㎡		
	埋立容量	約100,000㎥		
	埋立期間	約15年間		
	埋立工法	セル&サンドイッチ方式		
	埋立開始	平成22年3月		
着工	平成19年10月	竣工	平成22年3月	
浸出水処理施設の規模	処理能力	80㎥/日		
	最大貯留量	3,200㎥		
	処理方式	カルシウム除去+生物処理+凝集沈殿処理+砂ろ過処理+活性炭吸着処理+消毒処理		
総事業費	埋立処分場工事費	639,493千円		
	水処理施設工事費	713,309千円		
	関連工事費	33,248千円		
	用地・補償費	349,188千円		
	工事施工管理業務	29,699千円		
	調査・設計費	92,896千円		
	事務費・その他経費	85,267千円		
	合計	1,943,100千円		
財源内訳	国庫補助金	722,038千円		
	地方債	1,062,000千円		
	一般財源	159,062千円		

②搬入実績

—種類別搬入量—

(単位：t)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度
清掃事務所焼却灰	2,627.02	2,572.70	2,545.37	2,561.97
不燃埋立ごみ	1,677.14	1,760.98	1,921.62	1,784.22
その他	3,774.15	15,420.57	2,716.78	507.27
合計	8,078.31	19,754.25	7,183.77	4,853.46

③埋め立て実績

(単位：㎥)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度
期間埋立量	13,162.57	15,788.65	8,536.30	6,722.02
埋立総量	13,162.57	28,951.22	37,487.52	44,209.54
埋立残余量	86,837.43	71,048.78	62,512.48	55,790.46